

「ふね遺産」(推薦様式) : A4一枚に収め、それ以上は別途資料添付して下さい。

No.(*)	内容	備考
1.対象物・資料の名称・所属または所有者	対象物：世界一周ヨット「海連」 所有者：今給黎教子（いまきいれきょうこ）	1992年日本人初・世界女性では2人目・単独無寄港東回り世界一周航海に成功したヨット
2.対象物の作成・存在時期	1989年フィンランド baltic 社建造 同年日本へ輸入 1991年単独無寄港世界一周航海のため中古購入、大幅なオリジナル改造を鹿児島市で実施 1991年10月12日鹿児島市出航 1992年7月15日鹿児島市帰港（航海日数278日）単独無寄港世界一周航海成功 その後、各地イベント展示や博物館展示、体験航海を行う。	世界一周のための改造内容（水密隔壁設置・女性の体格にあうデッキレイアウト変更・マストリギン新作・帆の製作・太陽光パネル橋設置・航海計器設置など） 全長10,64m 全幅3,5m 重量5t マスト高14m 喫水1,8m
3.現状 (写真添付)	 現在、鹿児島市谷山港<鹿児島マリンサービス>にて整備中	世界一周後、各地での展示、レースや海のイベントに参加し、多くの方に海と船の素晴らしさを伝える。 2007年～2022年、鹿児島県南さつま市「海と船の博物館・笠沙恵比寿」に海上展示しつつ各地イベント参加。同館閉館により鹿児島市へ移動。現在整備中。 整備終了後、鹿児島市水族館いおワールドに展示予定。
4.ふね遺産 認定基準の該当項目(**)	【認定対象】(1) (2) (4) 【認定基準】(7) (10) (11) (12)	
5.歴史的・ 工学技術的意義	日本女性初、単独無寄港世界一周航海を成し遂げたヨット。それまで西回り世界一周を堀江謙一氏が成功させていたが、東回りでは日本人初。また世界の女性でも二人目の快挙。 男性中心の海や船を取り巻く環境の中、女性が一人で過酷な航海を行った事は、日本中に驚きと感動の渦を起こした。「海連」は日本の海と女性の歴史の中で、唯一無二の貴重な存在である。 今給黎氏はヨットによる太平洋単独往復横断航海も日本人初成功、他にも多くのヨットレースや海洋事業に参加。船舶の海洋への日本女性の進出の可能性を大きく広げた。日本のセーリング文化や海事思想普及にも多大な影響を与えている。	今給黎教子氏の体力体格と過酷な航海を念頭に様々な工夫が施された。船体はその頃日本では FRP 単板が主体であったため、堅牢軽量なハニカムコアエポキシバキューム工法を用いたフィンランド製<baltic35ft>を採用。マストリギン帆関係他船体改造は、今給黎氏の相談を受けた鹿児島市の剥岩政次氏がオリジナルで施工。
6.参考資料・文献	別途添付 <海連>資料 写真 世界一周航海図今給黎教子資料 報道資料など	

(*) No.は学会で記載します。(**)ふね遺産認定基準の【認定対象】と【認定基準】の項目の内、該当する最もふさわしい項目一つを、文頭の番号で記載して下さい。